

第2回策定委員会の意見への対応(緑マス)

No		指摘・意見	対応方針	該当ページ
1	佐藤委員	現行の計画の総括がされていないので、入れるべきだと思う。	第2章として追加します。	P12
2	林委員	・P24に緑の軸が示されている。ステージアッププランから考えると、通勤通学者を対象に駅から居住地に向けて街路樹を植える『住みたいまち稲沢市』としてのイメージが向上すると思う。歩行者空間の創出につながるのではないかと。 ・居住地として選ばれるまちを実現するには緑が効果的だと考えている。	緑を増やすことは費用が伴うので、費用対効果を踏まえながら検討したいと考えます。国府宮駅周辺再整備等にあたり、これらの件も考慮しながら進めていきたいと思えます。	-
3	平井委員	稲沢市で自然豊かなところという、サリオパークを思い浮かべる。水田なども魅力的である。P29に既存公園の再整備についての記載があるが、身近な自然が都市の近くにあると良い。稲沢公園を使って子どもがまちなかで遊べると良い。植木のまちということで、植木を使った公園があると良い。	個別の公園の再整備イメージや手法については、今後地域住民等の意見等を踏まえながら具体イメージを検討しますが、地域別ワークショップでの結果や重点エリア内の公園の再整備方針等への記述の際に御意見を参考にさせていただきます。	-
4	千頭副委員長	生き物のことが出てこない。尾張西部生態系ネットワークや環境基本計画について触れられていない。緑の質についても記述が必要だと思う。	緑の質やビオトープに関する記述を追加します。	P19 P24 P32 P35
5	竹内委員長	ビオトープについて触れられていない		
6	林委員	・水と緑のネットワークという表現が、今回の計画からなくなっている。大事なキーワードだと思う。 ・P30の施策⑥とP31の施策⑩については、点と点ではなくネットワークとして考えた方がよいのではないかと。	水と緑のネットワークに関する記述を『緑の軸の配置』及び施策の中に追加します。	P26 P32
7	嶋田委員	・アダプトプログラムに関しては記述をした方がよいと思う。 ・P31の市民の安全安心について、グリーンインフラや防災系統緑地といわれているが、災害に強い都市をつくっていくにあたり、全体で水収支が重要になってくる。トータルで考えていくにあたり、防災系統緑地の計画手法に関する技術資料を参考にしようか。	・アダプトプログラムに関して記述します。 ・防災系統緑地の充実にに向けた施策の記述を追加します。	P19・34 P33
8	桜井委員(代理:栗田氏)	・県の森と緑づくり事業は次期の計画案についてパブリックコメント中だが、あいち森と緑づくり事業については、計画の中に記述してもらっても問題はない。 ・P11、平成29年度に都市緑地法と都市公園法が大きく改正されている。民の力を借りながら再整備をすることも考えられる。また、都市公園の管理の方針を書くことができるようになった。老朽化に対して、点検をして確認をした上で、メンテナンスをしていくのか、再築していくのか検証をしてから再整備をしていくことが重要である。そのあたりも含め記入していただくと良い。 ・P27の数値目標で緑地面積が100ha減少している。なぜ減るのかを記述する必要がある。課題を解決する上で、実現化に向けて10年間の目標を設定すればよいと思う。	・あいち森と緑づくり事業について追加します。 ・都市公園の管理の方針について記述します。 ・緑地面積が減少する理由について記述します。	P35 P29 P28
9	水野委員(代理:今川氏)	・P20、P21に基本理念、目標を掲げているが、稲沢市は緑に生業が伴っていることが特徴だと思うので、前にも出していいのではないかと。概要版などでは特にそういうことが見えるように意識をしてもいいのではない	・生業の緑に関する記述を『地場産業の緑』として追加します。	P23 P25 P33

第2回策定委員会の意見への対応(緑マス)

No		指摘・意見	対応方針	該当ページ
10	竹内委員長	<p>・計画の中に市の特色は強調してもいいのではないかと。国府宮を中心とする神社の森も市の特色だと思う。市内の緑を健全に美しく育てていくことが、稲沢市の緑のマスタープランの特色としてあってもいいのではないかと。今後計画を策定していく中で考えていけばよい。</p> <p>・P22の農住共生エリアが全域になっているが、コンパクトシティを目指す都市計画マスタープランとの調整が必要ではないかと。政策として意味がなくなってしまう。</p> <p>・P28の緑と共生した暮らしの場を提供するとあるが、場を提供しただけで緑と共生した暮らしはできるのか。場に対するアクセス、交通施策が必要になってくるのではないかと。具体的には自転車道が挙げられる。市の平坦な地勢を利用すると良いと思う。方向性を示しておいてもいいのではないかと。</p>	<p>・農住共生エリアについては都市計画マスタープランと調整を行い田園居住ゾーンに修正し、地域交流拠点を追加します。</p> <p>・自転車道に関する方向性を記述します。</p>	<p>P25</p> <p>P26</p>